

# BluePrism分科会資料 リアルタイム起動

2019/7/22

株式会社TOKAIコミュニケーションズ 村田



# 課題① 手動実行に関して

## ◆ やりたいこと

共用ライセンスの部署にも、ライセンスの空きをBPで判断して手動実行させられるようにしたい。

- ・運用に柔軟性を持たせたい
- ・開発チームへの実行依頼・スケジュール変更依頼を軽減したい

## ◆ 分からないこと 1

ライセンスの空き状況をどのようにしたら判断することができるか。

(専用枠を優先しなければならないため、単純なライセンス空き状況の判断ができるだけではNG)

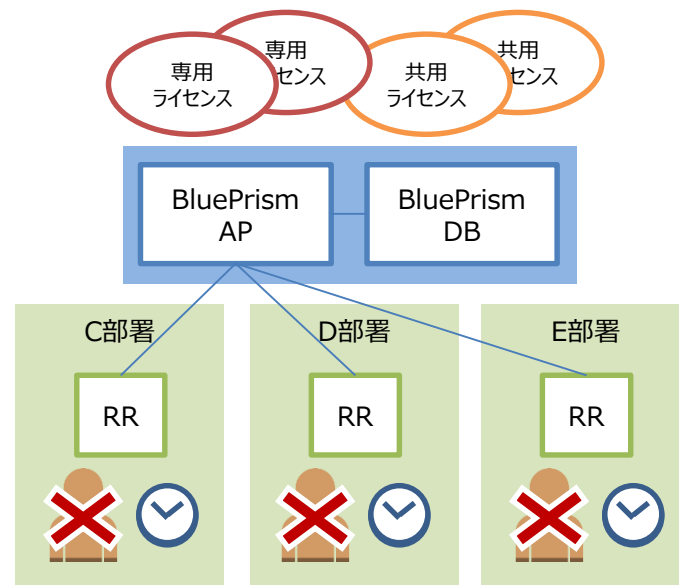
専 専 共 共 …○実行可

専 専 共 共 …○実行可

専 専 共 共 …×実行不可

## ◆ 分からないこと 2

この手動実行がすでに組まれているスケジュール実行を邪魔しないように制御できるとしたら、どのような方法が考えられるか。



この方々のわがまま要望にどこまで応えられるか

# 課題② メール監視業務に関して

## ◆現状の障害メール監視業務

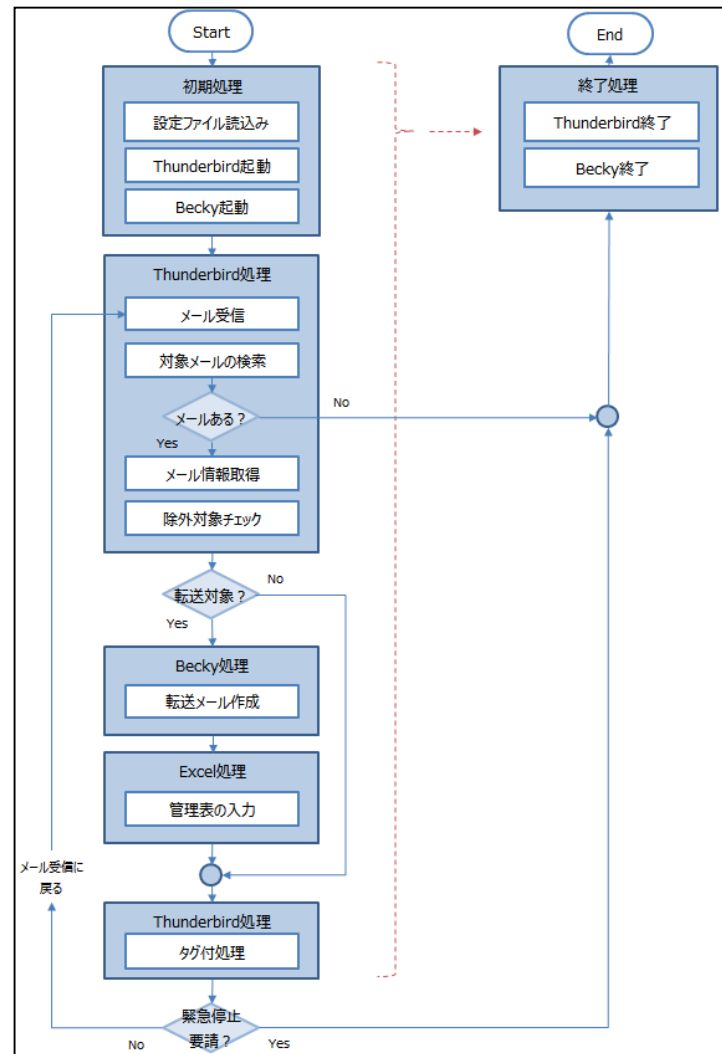
BPスケジュールで5分毎に起動している。RRは1端末に限定し、ライセンスを複数使用しないように制限している。

- ・監視ツールのメール送信から転送まで10分程度は許容される。
- ・転送されない事態は避けなければならない。
- ・メール頻度は40件/h。その中から転送対象か振り分ける。

## ◆知りたいこと

- ・メールをトリガーとしてプロセス実行できると、この方法と比べどのような利点があるか。
- ・どのような業務ケースがメールトリガーでの実行に向いているか。
- ・ライセンス空き状況、リソースビジーに対してどのような対応が可能か。

障害メール監視業務のフロー（5分毎にBPスケジュール実行）



うれしいをつなぐ。ひろげる。



*TOKAI GROUP*